

基本情報		
施設名称	博物館	
所在地	八戸市大字根城字東構35番地1	
所管部署	博物館	
設置の目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するための拠点として設置するもの。	

管理・運営の概要																				
土地	土地面積	7,725.00			m ²	所有状況	市有地													
	用途地域	第一種中高層住居専用地域																		
建物	建物名称	博物館																		
	建築年月日	昭和57年9月30日																		
	延床面積	3,767.49			m ²	構造	鉄筋コンクリート	階数	地上	2	地下	－								
	整備費用	1,501,252			千円	財産区分	行政財産													
	耐震診断	不要				診断結果	－													
運営	開館時間	9:00～17:00					延利用者数(人) <table><thead><tr><th>年度</th><th>延利用者数(人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R4</td><td>14,520</td></tr><tr><td>R5</td><td>18,712</td></tr><tr><td>R6</td><td>19,775</td></tr></tbody></table>						年度	延利用者数(人)	R4	14,520	R5	18,712	R6	19,775
	年度	延利用者数(人)																		
	R4	14,520																		
	R5	18,712																		
R6	19,775																			
休館日	毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始																			
開館日数(日)	R4	311	R5	318	R6	315														
運営形態	直営																			
利用	主な利用者	市民(全市的)		観光客		－														
	延利用者数(人)	R4	14,520	R5	18,712	R6	19,775													
	1日当たり利用者数(人)	R4	47	R5	59	R6	63													
	利用料金	入館料	一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (特別展開催期間は特別料金)				貸館利用料													

※令和5年4月1日から中学生以下無料。市内在住の65歳以上の方、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は半額。
(利用料金の詳細については施設ホームページに掲載)

駐車場の有無					職員数(人)	
駐車場の有無	有		自動車	23	正職員	会計年度任用職員
利用時間	9:00～17:00		原付・バイク	有		
入出庫時間	9:00～17:00		自転車	有	10	8
バリアフリーの状況					自家発電設備等	
車いす駐車場	出入り口のスロープ		障害者用エレベーター	オストメイト 対応トイレ	自家発電設備	再生可能 エネルギー設備
○	○		○	－	○	－
災害指定避難						蔵書数 (冊)
指定緊急避難場所					指定避難所	
洪水	土砂	地震	大規模な 火災	火山		
－	－	－	－	－	－	

施設運営費の状況								(単位:千円)
		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			地元 発注率		地元 発注率		地元 発注率	
支出	人に係る経費	63,492		77,461		87,851		
	企画運営費	17,488	100%	16,019	100%	14,976	100%	
	施設の維持管理費	49,882	100%	55,793	100%	57,225	100%	
	うち、光熱水費	16,814		17,682		17,979		
	うち、委託料	27,520	100%	31,143	100%	33,966	100%	
	合計	130,862		149,273		160,052		
収入 (財源)	使用料	2,070		2,985		3,216		
	その他	2,940		3,875		2,709		
	一般財源	125,852		142,413		154,127		
	合計	130,862		149,273		160,052		
施設運営費の特徴				支出経費の構成割合(令和6年度)				
1. 人に係る経費 特別展・企画展開催や資料の収集保存など企画運営業務に10人、その他の施設運営や管理に6人が従事しています。 2. 企画運営費 特別展、企画展開催にかかる経費及び、集客を図るための新聞への広告掲載費、看板作成費等に一定の経費を要しています。 3. 施設の維持管理費 収蔵品や展示品の適切な温湿度管理のため、常時空調設備を稼働させる必要があり、これに伴う電気代を要しています。 また、受付業務、館内の監視業務等に一定の経費を要しています。 4. その他 その他収入の主なものは建物貸付収入です。				維持管理費(その他) 2% 維持管理費(委託料) 21% 維持管理費(光熱水費) 11% 企画運営費 9% 人に係る経費 55%				

取組の状況	
設置条例	八戸市博物館条例
運営方針等	先人の優れた文化遺産を保存して後世に引き継ぐとともに、その一部を展示公開し、八戸の風土と歴史を紹介する。
取組の内容	1. 施設の特徴 当館では、考古・歴史・民俗・無形資料の常設展示を主体としており、そのほかに特別展や企画展を開催しています。 また、教育普及活動として、講演会や博物館クラブなどを実施しています。 2. 主な事業 (1) 常設展の開催 考古－縄文時代から中世までの出土品等 548点 歴史－八戸2万石の城下町としての様子等 90点 民俗－八戸の漁業・農業・信仰・芸能等 217点 無形－八戸の民謡・昔話・わらべ歌・方言、市内の各学校の校歌、八戸の観光等 51点 (2) 特別展の開催 夏季特別展「さらめく八戸」 会期:令和6年7月20日(土)～9月16日(月・祝) 入館者数:5,160人 秋季特別展「境界線上の彼女たち」 会期:令和6年10月5日(土)～11月24日(日) 入館者数:4,419人 (3) 企画展・パネル展の開催 ①企画展「新収蔵資料展」 令和5年度に新たに収蔵した資料を紹介する企画展 「Ⅰ・民俗」 会期:令和6年4月13日(土)～5月19日(日) 入館者数:2,385人 「Ⅱ・歴史」 会期:令和6年6月1日(土)～7月7日(日) 入館者数:1,405人



常設展示室

- ②ミニパネル展「八戸の防災－災害と供養－」
防災意識の高揚を目的として、毎年、防災月間の9月に開催
会期:令和6年9月1日(日)～9月29日(日) 入館者数:2,550人

- ③新春ミニ企画「えと展－へび－」
令和7年の干支である「へび」に関する資料を紹介するミニ企画展
会期:令和6年12月7日(土)～令和7年1月13日(月・祝) 入館者数:772人

- ④企画展「えんぶり展」「ひな人形展」
国の重要無形民俗文化財に指定されている代表的な民俗芸能「えんぶり」の歴史や内容について紹介。
「ひな人形展」では、八戸の商家に伝えられた享保雛、昭和期の古今雛のほか、日本各地の郷土雛・郷土人形を紹介する。
えんぶり展 会期:令和7年1月25日(土)～3月2日(日) 入館者数:1,924人
ひな人形展 会期:令和7年2月15日(土)～3月23日(日) 入館者数:2,110人



企画展「えんぶり展」

(4) 教育普及活動の実施

- ①博物館クラブ
小中学生から一般を対象とした体験学習講座 計9回開催 参加者数 延べ143人

- ②おとなの博物館クラブ
高校生以上を対象とした本格的な体験講座 計2回開催 参加者 12人

- ③館外フィールドワーク「八戸城下めぐり」
中心街を歩きながら、八戸藩政時代の城下町であった名残をめぐる。
計2回開催 参加者数 28人

- ④市民のための歴史講座(博図連携事業)
共通テーマによる歴史講座。令和6年度のテーマは「書籍と図書館」
計4回開催 参加者数 173人



博物館クラブ

(5) 資料管理

- ①令和6年度寄贈資料
考古資料 1点 歴史資料 40点 民俗資料 482点 総点数 523点

②収蔵資料保存修理

- ・重要文化財保存修理事業「青森県丹後平古墳出土品」
令和6年度 鍔形飾金具1点、鉄刀2点、鉄鏃9点、鉄轡1点、環状製品6点、
石製紡錘車1点 計20点
- ・重要文化財保存修理事業「櫛引遺跡出土品」
令和6年度 深鉢型土器 1点
- ・歴史・民俗資料保存修理
令和6年度 螺鈿小筆筒 1点
「大字櫛引村地押訂正絵図面」17枚、「盛岡城下周辺図」一式、「八戸廻御代官所絵図」1枚
なぎなた 銘「備前介宗次／安政四年八月日」、槍 銘「山城国住下坂作」各1点

(6) 収蔵資料



国指定重要文化財「櫛引遺跡出土品」



県重宝「菊牡丹唐草轡十文字紋時絵」

3. 維持管理費と財源の見通しについて

○過去3年度における施設運営費の平均（単位：千円）

支出	人に係る経費	76,268
	企画運営費	16,161
	施設の維持管理費	54,300
	うち、光熱水費	17,492
	うち、委託料	30,876
	合計	146,729
収入（財源）	使用料	2,757
	その他	3,175
	一般財源	140,797
	合計	146,729

(1)維持管理費について

①維持管理の状況について

博物館では、常設展示室に約1,000点、収蔵庫内に約74,000点もの文化財を有しており、文化財にとって最適な温湿度環境を確保するため、常時空調を稼働し、文化財の保存に努めています。今後、空調設備や消防設備などの設備更新を予定しており、維持補修費が増える見込みとなっています。

②維持管理費削減の取組

照明のこまめな消灯の徹底や、空調を行う場所や時間の制限、電気契約の見直しなどの実施により、これまで光熱水費の削減に努めています。
また、博物館リニューアル事業の一環として照明のLED化を進め、更なる維持管理費削減に取り組みます。

(2)財源の見通しについて

施設使用料のほか市税や地方交付税などの一般財源を基本に、その他収入として建物貸付収入等を引き続き確保するとともに、新しい財源の確保に努めていきます。